忘れられない名前と顔

札幌市医師会
新札幌パウロ病院
高階（たかしな）　俊光（としみつ）

日本医師会の日医ニュースの「南から北から」（第1431号）の随筆欄で、執筆者の名前が元首相と同じで「“小泉純一郎”で得をしたこと」を読んで、私の今までの患者さんの顔や名前などを思い浮かべてみました。しかしながら私は名前や顔を覚えるのはとても苦手で、特徴のある人のほうがまだ記憶に残りやすいかもしれません。このため相手にも自分の名前を知ってもらうために、若い時に医局の宴会部長をやっていた時のことを思い出しました。かなり酔っ払って新人の女性医師に「私の名前は高階俊光（たかしなとしみつ）と言います。タカシナです、おかしな先生、いや確（たし）かな先生です、やっぱりオカシナ先生ですかね、年齢は歳３つ（俊光）です」と自己紹介すると、その方は吹き出しの笑いをこらえながら「覚えました」とすぐに言ってくれ、翌日にいの一番に患者さんを紹介してくれたものです。

今まで40年以上も患者さんと接してきて芸能人と同姓同名の名前は数知れず、名前を呼ぶとみんなが注目します。本人はまんざらでもなさそうです。また伊藤久美子さんという名前の方に今までに５人遭遇しています。そのうち２人は同じ職場にいました。また、同じ名前の患者さんを呼ぶときにはどうお呼びすればよいのか、いつも難儀しています。現在は銀行のように番号で呼ぶ医療機関もあり、とてもよいことだと思います。

本州から札幌に転勤した知人が、しばらくして、偶然同じ名前の人物を見つけました。子供の頃に祖父の弟が北海道に渡ったことを記憶していたこともあり、そのことが気になっていました。悩んだ末、思い切って連絡したところ、その相手が実は祖父の弟の孫であることが判明しました。それをきっかけに、知人は嬉々として相手の家を訪れ、ご馳走になり、そこから孫同士の親戚付き合いが始まったとのことです。もしかしたら、珍しい名前でなくても、身近な場所に血縁関係のある親戚がいるかもしれませんね。

同姓同名で損した例で、私の叔母さんが夫の友人の名前をお悔やみ欄で見つけ住所も同じだったので、夫は喪服姿で葬儀場に行き香典を払って会場に入ったところ遺影ですぐに別人と分かりました。いやはや香典を返してもらうわけにもいかず合掌だけして帰って来たとのことです。「ビックリシタナモー」です。

外来で患者さんに「珍しい名前ですね」と言うと、「そうなんです、それで悪いことをして新聞やテレビに出ないようにしています」と自分を律している人もいます。私も比較的珍しい名前ですので、皆さんも認める品行方正な？私が何かで誤認逮捕されたりしたら、珍しい名前プラス医師の肩書のせいでマスコミの餌食になってしまいます。その場合は子供たちにお嫁さんの姓を名乗るように言っています。

古希を迎えた産婦人科医として、普通分娩の患者さんは名前も顔もまず覚えていませんが、とても苦労したり珍しい症例の名前と顔は覚えています。また苦労した症例ではないのですが、忘れられない名前があります。名前が「泉」という女性が結婚相手の男性の名字が泉さんで「泉泉」になった人がいます（投稿記載了承済）。また名前が「行寄（いくよ）」さんで「今夜」という名字の男性と結婚して「今夜行寄（こんやいくよ）」（仮名）になってしまった患者さんもいました。外来で名前を呼ぶと周りの患者さんから視線が集中するのです。それで今夜……行寄さんとタイムラグを入れて呼んだところ注目度は半減しました。まさか行寄さんも今夜という名字の人と一緒になるとは露程も思わなかったことでしょう。

私の友人にとってもたまげた名前を自分の子供に付けた人がいます。彼はとても難儀した感染症の症例にゲンタマイシンが著効して助けることができたことからゲンタマイシンに感謝して長男に「厳太（げんた）」、長女に「舞（まい）」、次男に「新（しん）」と名付けたのです。それにしても男女の順番が違っていたらどうなったのでしょうか？そんな野暮なことは私が考えることではありません！

また、人間だけでなく競馬の馬名でも忘れられない名前がありました。クラウンライターと見ごたえのある末脚で天皇賞を制した消費者金融名のアイフルです。２頭ともアナウンサーはその名を10回以上繰り返し絶叫してとてもよい宣伝効果があったと思います。さらにもっと面白い名前がありました（読売新聞：2019．5．26 ～馬の名前 想像楽しむ）。ディープインパクトのような格好いい名前ではなくワタシヲマッテル、デンセツノマジョ、アイアムハヤスギル、ビックリシタナモー、オトリコミチュウなどで、アナウンサーが「オトリコミチュウ」、「ワタシヲマッテル」、「ビックリシタナモー」と繰り返し絶叫する様子を勝手に想像するだけで楽しいです。

珍しい名前や同姓同名でよいこともそうでないこともあるというのは、まるで物語だなぁとオカシナ先生は、いや確かな先生は小泉純一郎さんから教えてもらいました。最近、後輩から感謝の気持ちいっぱいのお礼のご丁寧な手紙で「オカシナ先生！どうもありがとうございました」とありました。やっぱり私って昔からおかしいのかなあ！